

『大南寔録』 中飢饉関係記事一覧表

嶋 尾 稔

ここに掲載する一覧表は、ベトナム阮朝の実録である『大南寔録』に記載された飢饉関連記事を年代順に整理したものである。

凡例

- ①年次（第1列）は、阮朝の年号を西暦に直してあるが、年末年始のズレについては調整していない。月（第2列）に就いては原文のまま（陰暦）である。
- ②場所（第3列）の記載は、『大南寔録』中の記載のままであり、当該事象の発生時点での行政単位の名称である。
- ③第4列は、『大南寔録』の記事中で飢饉あるいは食糧難を表現する主たる記述部分を示した。
- ④『大南寔録』の記事中に王朝の飢饉への対応策が記されている場合、第5列にその記事中で使われている語を用いてそれを簡潔に示した。具体的は、「賑」「賜」「給」（米の給付）、「貸」（米の貸与）、「糶」（安価な米の販売）、「展」「緩」（租税徴収や兵役、労役、訴訟の延期）、「蠲」「免」（免税）などである。支給・貸与・販売する米の出所を括弧内に適宜注記した（「倉米」「倉粟」：地方行政単位の備蓄米、「義倉（社倉）粟」：民間に備蓄させた米、「捐」：富裕者の義捐物資、など）。臨時の公共事業の労賃として米を支給する場合などは「賑（工代）」とした。
- ⑤記事中に飢饉の様子に関する具体的な状況や対応策に関して特記すべき事柄などが見られる場合は、第6列に記事原文の抜粋を掲載した。
- ⑥第7列には、当該記事が、慶應義塾大学言語文化研究所が刊行した『大南寔録』影印本の何ページ（通巻頁数）に掲載されているかを示した。

年	月	場所	主な記述	主たる対応策	詳細・備考	ページ
1789	4	暹羅	早、饑	賜		349
1790	7	鎮定宮、 藩鎮宮、 鎮定宮、 永鎮宮	民饑	糶		365
1791	6	(藩鎮宮)	大早、民 艱食	糶、糶 (倉粟)、 貸(富戸 出粟)	禁煮酒。	375
1794	12	暹羅	民饑	糶		399
1798	7	富安	民饑	賑	多扶老携幼、就食于延慶。	458
1800	7	平康	民艱食	緩		499
1800	7	河遷	饑	糶		499
1802	10	嘉定	饑	貸(倉粟)		597
1803	2	嘉定	米貴、民 饑		令諸宮汎守譏察商船、毋得盜 載粟米出境。	615
1803	5	広義	米貴、民 艱食			624
1803	8	広南	饑	賑(倉米)		631
1803	8	布政外州 (広平)、 又安	饑	賑(倉米)		632
1804	3	呂宋	饑	糶		649
1808	6	又安	民饑	賑(採納材 木に対して)		769
1808	10	又安	饑	緩		779
1810	1	北城	民饑	賑、貸 (倉米)	勅税課徴収及民間貿易敢有揀 斥錢文者坐以罪。	805、 (813)
1811	10				命諸地方賑饑、毋俟報。	851
1814	1	平定蓬山	大潦、民 饑	糶、貸 (倉粟)		897
1816	11	又安	饑	緩、糶 (倉粟)		955
1816	11	甘露・哀 牢二道	饑	緩		956

1817	7	真臘	饑	糶 (龍湖・沙的等處粟)		970
1818	7	真臘	饑	糶		986
1820	4	山南上・京北	艱食	糶、貸		1479
1821	1	辺和	潦、民饑	賑		1531
1821	11	真臘	饑	賜		1587
1823	5	清化、乂安、寧平	旱、饑	賑 (工代)		1699
1824	2	乂安	饑、盜起	蠲、緩		1741、 (1736- 1737、 1752- 1753、 1754)
1824	4	海陽	米貴、民饑	糶、緩		1756
1824	5				城轄多盜、海陽為甚。蓋由歲旱民饑、因而抄掠。	1760
1824	7	海陽	饑民	貸		1773
1824	7	平順、順成	旱、民艱食	糶 (倉粟)	至採木果草根以療饑。	1775
1824	7	清化	米價日昂、民有餓莩者	賑 (倉米)	帝念新穀秋成尚需閱月、即命吏部僉事黎登瀛・兵部僉事吳福会往發倉米賑之。・ ・ ・ 瀛等既至、饑民就賑日衆。民家坊舍、不能容。有暴暑露宿因而死者。瀛等構草舍以居之。病不能起則煮粥食之。死則出錢布葬之。又訪得民間有赴賑不及而餓死者、有争渡而溺死者、六百余人。皆給錢布、使收葬。事聞。	1775
1824	7	南定瑞英	艱食	貸		1780
1824	10	清広東省欽廉二州	饑		帝聞之謂戸部曰「北城欽廉接壤。而今城轄米價頗賤。猾賈	1790

					細民不免盜得以趨利。」其諭令城臣凡水陸可運載者嚴飭盤詰之。	
1825	1	広南	艱食	賑(工代)		1802-1803
1826	1	海陽鎮轄十三県	民因饑流散、凡一百八社	蠲	十三県(唐安・唐豪・錦江・永頼・四岐・先明・青林・金城・英山・宜陽・安陽・東潮・安老)	1881
1827	8	真臘	饑		嘉定総鎮黎文悦便宜賑米一萬五千方、具疏以聞。帝諭之曰「恤難救災、朝廷固不靳費。惟真臘属藩、視我民有間。彼饑荒而賑之、待奏未晚。今姑準報銷。嗣毋得援此為例。」	2051
1829	3	広安雲屯萬寧二州	米貴、民有饑色	糶(倉粟)		2206-2207
1829	6	乂安鎮寧	米貴、人民艱食		防禦使昭内報于鎮。鎮臣以在府現貯官粟三千斛、奏請權支一千五百斛散給、至収成如數填納。許之。	2235
1830	6	北城	米貴、民艱食、海陽為甚	緩、貸(倉粟〈海陽〉)		2361
1833	1	北圻	饑民		清化護撫阮登楷奏言「自去年八九月來、茲北圻饑民多投于省轄求食、有軫死于道路者。目擊情形誠所不忍。且因工代賑亦救荒一事。省城外濠畔與官路石橋未經興築、必需之山石數多。請權設養濟一大所、伝集流民、挾其強壯者、雇採山石。再水堡為河水衝激。應開港道、以移建之。請一併雇工、給錢米、俾有所資仰。」帝許之。又命發庫錢一千緡・米二千方、賑諸老弱婦幼及殘	2668-2669、(2674)

				疾無告者。	
1833	1	南定	米貴、艱食	展	2674
1833	2				海安署督阮公著奏言「客臘以來、河內・興安・南定諸省饑民就食於海陽者至三千余人。」
1833	2	寧平		賑	寧平護撫阮文謀奏言「河內・南定諸省流民扶攜求食者五六百人、皆鵠形菜色。」
1833	2				運京倉米于清化・寧平・興安・河內諸省、賑給饑民。
1833	2	北寧			・・・奏云「民間雖未至饑荒而值此青黃不接、貧乏者稍形艱食。再隣省饑民流徙求食者亦衆。」
1833	3				海陽署督阮公著・・・言「近來饑民就食、日以益衆、漸至二萬七千余人。摘其羸瘦痿弱應賑者三千余人而恩給之。錢米將盡。俟至穀熟來日猶長、恐難免填諸溝壑。・・・」定安總督鄧文添奏言「二月中旬來、茲經將糶貸所剩之粟、輾米以賑饑。民間有未就賑場已先餓莩者、有啗米粒隨而立斃者。」
1833	3	乂安鎮靖府樂迎府	饑		帝曰「二府雖在遐荒、亦吾赤子、朝廷仁同一視。豈可置之膜外乎。」即命發倉粟一千八百余斛、輾米運給。
1833	4				清化省臣奏言「夏禾既熟、民食有資、北圻流民陸續返回故里、業已停賑。」帝覽表大悅。・・・河內・北寧・海陽・南定・興安諸省尋亦奏報、禾穀豐收、米價驟減、就賑饑民已起色、漸漸還復。惟南定猶有

					老弱仰食者一二千人。命省臣增發倉米五百方繼賑、旬日而止。	
1833	7	(南定) 天本・懿安・豐盈三県	民間稍形艱食	賑		2856、(2857)
1833	8	平定	米貴、民艱食	糶		2876
1833	8	広義	民食尚艱			2885
1833	8				海陽署督阮公著奏言「轄内災黎節蒙賑給、食用稍舒。惟流民就食者至一萬三千余人。請計日增給。」	2885、(2926、2966)
1833	10	甘露十州	人民饑饉			2998
1833	10				惟興安水害太甚、民猶艱食。	2966-2967
1834	2	寧平			適護撫黎元熙奏報、正月来、茲河内・南定饑民投省轄並清化求食者以千数。帝即降諭黎元熙以錢米優給一次、使還生理。・・・謂戸部曰「河内・南定皆是北圻兩大省、富饒甲於諸轄。去年偶因水潦艱食。節經賜賑蠲租。嗣而秋禾告熟、民食稍舒。朕心深以為喜。不謂纔遇青黄不接、便有此苦迫、令傍人不能不為之動心。」	3135
1834	2	海陽	米貴、民艱食	貸(倉粟)、 緩、給 (捐錢粟)		3145
1834	3	興安	民食尚艱		諭準設賑場于省城外、伝集窮民、發錢米量賑之、一月而止(十日一賑、極貧者人各米三盃、錢三陌、次貧者各米一盃、錢二陌、幼小半給)。	3211-3212
1834	5	広平安代	始附蛮民、			3247

		源	饑饉流散		
1834	10	真臘	民饑		3421
1834	12	乂安			3470
				帝諭戸部曰「此轄偶遭小歉。而民間船艘前經撤回、以備來春心載。想諸船戸等待需旬、則商米未得流通、小民不免稍形艱食。準照來年乂安與河靜心載船艘、先令駛往寧平・南定領載來京奉納、即放回通商、則米價可期減賤矣。」	
1835	閏6	清化	歲歉、民艱食		3675
1835	7	広治明靈 県・甘露	歉収、餓 莩	賑	3708- 3709、 (3714)
1835	8	広治明靈 県		賑、糶、 貸、給食、 撥医療	3714
				(武名碩) 奏言「訪之轄民、皆云、自去年八月颶風傷重、以今夏歉収、貧困日甚積。至六七月間、壯者散之、他方老若填于溝壑、・・・餓死者至四百餘人。」	
1835	11	広平麗水 県	米貴、民饑		3791、 (3840)
				民饑就食道路。令撥出錢米。照極貧・次貧分項賑給。・・・而各県饑民間而至者幾萬人。令發錢米一律給之。	
1836	1	広治	歲歉、民艱食	貸(倉粟)	3821
1837	2	北寧	米貴、民艱食	糶(倉粟)	4037- 4038
1838	8	平順	米貴、艱食	貸(倉粟)、 緩	4308
				土民更甚。	
1839	3	清化	米貴、民艱食	糶	4405
1839	11	平定	米價驟貴、 民食稍艱	糶、給粟 (在省官買物 項に対して)	4514
1841	8	海陽	饑民	貸	4922

1842	2	広義	饑	糶(倉粟)		4990
1842	5	永隆遵義 ・茶米二 県	土民饑饉	貸		5042
1843	8	辺和省福 平県	土民艱食	糶		5193
1843	8	広治甘露	(向化土 民等) 饑 乏			5198
1843	10	広治・又 安	米貴、民 艱食	貸(倉粟)		5207
1844	1	又安南塘 ・清漳・ 興元・真 祿四県	民艱食	貸		5225
1844	3	辺和隆慶	土民饑	糶		5238
1846	2	河静	米貴		(阮) 順等奏言「轄民就省求 食者以千百計。」復命增撥錢 米、賑給之。	5454、 (5471)
1846	2	広平	不雨、米 貴、民艱 食	糶、賑 (工代)		5460- 5461
1848	10	又安、河 静	民饑	賑		5700
1849	2	又安五県 (南塘・ 清漳・梁 山・興元 ・真祿)	食艱	糶		5764
1849	7	又安、河 静、広平、 清化	艱食	緩、免 (関津税)		5775
1850	8	承天、広 南、又安	食艱	蠲		5804
1850	9	清化			阮登楷請調劑清省七事(一糶 饑民、一量展夏徵、一盡蠲逋 税、一展填兵、一除虚著、一	5805

					挑刮江道以工代賑、一移静嘉府莅于玉山蓮舎[旧莅官兵多病故]。帝皆許之。	
1851	7	広平	艱食	糶、賑 (倉米)	布澤・平政・明政三県獨切。	5826、 (5830、 5838- 39)
1851	7	興化	艱食	糶(倉粟)		5827
1851	12	広南、広 義	艱食	糶(倉粟)		5841
1851	12	承天	艱食	糶		5842
1852	1	広平	饑民	賑(工代)		5847
1853	3	清化	饑民	糶、貸、 賑(倉粟)		5871
1854	6	諒山	大饑	賑		5902
1854	6	北寧	饑民	賑	北寧三県鳳眼・保禄・陸岸、 水蝗為災。	5903、 (5914、 5915、 5916- 17)
1854	6	広平	米貴、饑 者	糶、貸		5906
1854	6	乂安、河 静	食艱		令省臣遴出商船放憑、往別轄 買米、載回發兌。	5906
1854	7	承天、広 治	饑民	糶貸(京 倉米)		5909
1854	7	慶和	饑民	賑(倉米、 捐錢)。	帝聞、慶和饑民至拾菜根山菓 以充口腹。特命賑給。	5910
1854	閏 7	広平	民食未舒	糶(倉粟)、 貸錢、緩		5911
1854	閏 7	乂安	民食愈艱	糶(倉粟)、 緩、賑		5911
1854	閏 7	清化玉山 県	艱食			5913
1854	8	広治道成 化県	烏江総土 民並各州 蛮民艱食			5916

1855	1	広平	饑	賑(倉粟)		5931
1855	2	乂安	艱食	糶(倉粟)		5932
1855	2	広治	饑	代賑(雇民)		5932
1855	3	興安省興仁県	民情拮据	糶		5936-5937
1855	3	清化、河内	艱食	糶(倉粟)		5938
1856	11	広南、広義	民食拮据	貸(倉粟)		6020
1856	12	広平四県(豊祿・豊登・布澤・麗水)	民食未舒	糶		6023
1856	12	乂安	雷雨、米貴、食艱	糶(倉粟)	再準該省臣放憑轄下商船、往北圻各省買米、駛回兌売、俾米粒流通。	6026
1857	1	南定	米貴、食艱	賑、糶(倉粟)	去秋、水災稍重。	6031
1857	2	寧平	米貴、食艱	賑、貸	前經水潦。	6033
1857	3	広平	饑民	賑(倉米)	再撥船、運南定糧米七千方上下・広治錢四萬緡、將回備貯。	6035
1857	4	河静道	艱食	賑(倉粟)		6039
1857	8	乂安、清化	米貴、食艱	糶(倉粟)、賑		6056
1857	8				海陽沿海風災民並隣轄潦災民、就省覓食者多。	6057
1857	9	興化六県	艱食	糶		6059
1857	9	河内、南定、興安	饑民	賑	北寧・海陽二省奏「河内・南定・興安等轄饑民、投該二轄覓食者衆(自二三百至一千余名氏)。・・・」南定省臣奏「・・・貧弱扶携尚需調劑。于属轄四府各暫設養濟場一所、遍飭老病貧窮就所、照例給養。」準依請行。	6060-6070

1857	10				南定・河內饑民投寧平轄（安慶・天關）、幾五百人。省臣遵諭賑給。奏聞。	6064
1857	10				興安省臣調劑轄民。．．．隣轄投來覓食者照例賑給。病死給錢埋葬之。	6065
1857	12				興安省臣奏「該轄養濟二所流民投來覓食、快州府所日常賑給八百余人、先興府所至二千余人。」	6071- 6072
1858	1	河內	堤潰、艱食		命広平・乂安商船往南圻買米來兌。	6075
1858	1	海陽	饑	賑（倉粟）	並別轄饑民多來覓食。再命出倉粟六七萬斛、糶之別轄民、亦準量行賑給。	6077
1858	1	興安	食艱			6078
1858	2				劉亮自興安回、．．．以利病情形入奏（言「．．．前被水災、河內為最、南定次之、興安次之。．．．河內・南定被災較重、當此米價騰昂、．．．河內窮民多流往興安・北寧・海陽・清化諸轄覓食．．．」）。亮覆言「．．．見道途老若扶携。詢之、河・南人民就食先興・快州二府賑場。亦有一二饑斃。．．．海陽本年應載米二十萬方、應摘留十萬方、交河・南每省各四萬、海陽・興安各一萬．．．。再敕下広平以南緊飭在轄賣米商船往南定・興安・河內等省兌賣、閩津免征。如是則米粒漸多、價值日減、食用亦得稍舒矣。」帝善之。	6078- 6079
1858	2				北圻諸省流民多殍。寧太督臣阮文豐請給布席埋葬以免暴露。	6081

					許之。	
1858	2				寧平・南定・河內饑民復散往清化有壳身者、有鬻兒者。省臣以聞。乃命出倉粟一萬斛、賑之。	6081
1858	3				辰各轄流民就食河內至三萬余人、督臣黃収、以米不充、請將捐錢、賑之。帝曰有錢無米、何以充食。準飭流民往北寧・海陽、出倉米賑給之。	6081
1858	3				海陽再摘倉米一萬方、分貯各縣給饑民（男婦一碗、童幼者半）。	6082
1858	5				設養濟場於太原、賑給流民、死者給布席。	6086
1858	5				帝以海陽夏禾希少、命省臣飭民往定・安二省買米回兌。仍嚴禁其暗向清船貿易。	6088
1858	6				北圻諸省、以是夏田禾稍豐、米價平、民食舒、流散者咸歸鄉里。	6089
1859	4	広平六県	艱食	貸		6123
1859	7	広南	米貴、艱食			6136
1859	7	乂安	饑	貸（倉粟）		6138
1859	8				・ ・ ・諭平富等省運粟于広南。移饑民于南圻・ ・ ・。	6139-6140
1859	8				命又省飭轄下饑民分往清化・寧平雇度、又開場于二省城賑之。	6141
1859	8	広南	饑民	賑、貸（倉米）		6141
1859	9				設広南六県養濟場。・ ・ ・復諭諸直省民運粟米捐納于広南者、加賞。	6142
1859	11	広南	饑		多有餓殍者。	6146、(6150)

1860	1	京師	米貴、饑民	賑（捐錢粟）		6152
1860	12	乂安	米貴、食艱			6188
1861	1	河靜奇英 嶺	饑饉	貸（倉粟）		6191
1861	1	広平	米貴、民情拮据		業許各項船駛往北圻買米、載回發買、而各省一切嚴禁米粒不得流通。請令北圻諸省聽其發兌、以裕民食。許之。	6192
1862	3	広南、広義、及乂安、清化、寧平	食艱	賑、糶	又通命諸轄勸捐一律設立社倉義倉、預行積貯、以備調急。	6238
1862	12				帝以兩圻徵發較繁重而米貴食艱。鑄十轄（広平、安江、河僊、河靜、乂安、清化、寧平、南定、海陽、山西）。貸糶錢粟。復令諸地方各分輕重調劑。	6266
1863	2	広平	饑民	賑		6270
1863	4	宣光、太原	殘破饑荒	賑		6273
1863	8	安・河・永隆	艱食			6280
1863	8	平定、慶和、広平、諒山、海陽	饑	賑、糶、勸捐		6280
1864	3	太原省白通感化平川三臬州	饑民			6296
1864	3	広南	饑民	賑	有餓莩者。．．．（黎有譽）奏言「近來轄民買米、及米船來商、民食少舒。但、恐五六月間難期接濟。」	6297
1864	3	北寧、南定、寧平、	饑	命出、貸、糶、賑	又諭飭官吏士庶広行救荒濟急、量賞之。	6299

		河内、山西、興安、興化、広平		(倉粟)		
1864	4	河内・南定	饑		流民往寓興安團鋪一千余人。興安省臣以聞。令出倉粟三百斛、賑之。或給口糧、使回原貫。・・・興安省臣又請禁商船買米、以裕民食。諭令興安・南定・北寧三省支出倉米、或米一萬斛方、照市價發兌。餘民間有賣者姑禁止之。	6301
1864	4	又安・河静	饑	糶、貸 (倉粟、勸捐錢米)		6302
1864	5	高平	米貴、食艱			6305
1864	8	南直・左畿	食艱	賑、貸 (倉粟)	又勅令各省飭清船往暹或嘉定清國下州各處買米、往各省道兌売、免稅。	6318
1864	8	広義	轄民艱食	賑、貸 (樂捐粟米粒、社倉粟)		6319
1864	9				平富護督申文櫻奏言「屬轄貧民與流民(広義流民七月期五百十七名氏、八月期七百名氏)、經賑給後、遍往鄉里及官路覓食。再因雨潦、多得浮腫。經飭所在扶引病人歸宿市館、派出良医、支官錢買藥医治、並造粥飯調養。具將現狀以聞。」	6324
1864	10	広安安興県	饑民	貸		6328
1864	10				令近省道路諸府県州各立養濟所、収養無依者、月給錢一緡・米十五椀。	6330

1864	10	平順	食艱	糶、貸 (倉粟→ 漢土民)、 賑(米→ 蛮丁及婦 幼者)		6330
1864	11				令出京倉粟十萬一千四百斛、 減價發糶廣治以南貧民。	6334
1864	11	安江	民饑	糶(倉粟)		6335
1864	12				南定省臣以設立社倉(通算得 粟二萬余斛、錢二萬余緡)。	6336
1865	1	承天	沿山海饑 民	貸(倉米)		6340
1865	1				設廣南賑場、賑其饑者。又移 廣南饑民(六百余名氏)于富 安・順・慶、擇諸間田構舍、 居之。	6340
1865	3	宣光、諒 山、太原、 高平、廣 安、山西	饑	賑		6352
1865	4	畿內	米貴、食 艱			6353
1865	5	海陽	米貴、食 艱			6361
1865	閏 5	南定	饑	蠲、緩、 糶、貸、 賑		6364- 6365
1865	6	平定	米貴、食 艱			6369
1865	6	北寧、太 原、山西、 興化、宣 光	食艱			6367、 (6379)
1865	6	廣南	民饑	賑(原載 又安米、 倉場米)	再準摘北載粟二萬斛、錢四萬 緡、登貯備賑。	6369

1865	6				承天府臣、以米貴食艱、請禁 広南商船買米。帝曰「京外皆 朕赤子也。豈応視其饑窮。」 不許。	6370
1865	6				命南定省臣酌行平糶法、以辰 斂散、要使公私兼濟。	6370
1865	6				命戸部摘錢、貸南・義商（南 六艘、義四艘、泊順安鑄）、 每船二三千緡、買米。並飭左 畿諸船駛來永隆領錢買回發兌。	6370
1865	6	高平	饑			6371
1865	6	清化錦水	民饑			6371
1865	6				広平嗇雨。省臣以去臘咨取又 安米未載到、請摘北米（載回 京）二萬方、以備給發饑民。 聽摘五千方隨宜糶貸。	6372
1865	6	広南、広 義	民饑			6372
1865	7	海陽	大饑	賑、貸	饑民就食至八九千人。有餓死 者。	6373
1865	7	山西	饑	賑		6374- 75
1865	8				準定調劑饑民條款（略）。	6376
1865	9				広南欽派潘文述請發京倉米二 三萬方減價糶、広南商船（領 本省捐錢）領買兌、以舒民食。 許之。	6332
1867	1	平・富	旱、饑		令代役・免役・商板漕船買米 回兌、各加賞有差。	6456
1867	10	広義	食艱			6486
1868	3	清化、寧 平、海陽	艱食	給、貸 （倉米）		6502
1868	4	寧平	饑	賑		6504
1868	4	平定山蛮	民饑			6505
1868	7	海陽	饑	緩、勸捐	命省臣分設暫舍、以處饑民。	6523
1869	9	高平	食艱	賑、貸、 糶（諒山		6585

				倉米)		
1869	12	平順蠻	饑民	賑		6591
1870	12	広南	食艱	蠲、緩		6622
1871	1	広平	饑		請支米糶賑、及収買材木照價代給、並令富豪糶貸與収養。許之。仍命清化・又安摘米二萬方載交、以資賑給。並飭商船買米就兌。	6629
1872	3	北圻諸省 (山西、 河内、北 寧、興安、 海陽)	饑民流莩			6677
1872	4	寧平、南 定、河内、 山西	饑民多散	賑貸(勸 捐及摘出 義倉錢粟)		6683- 6684
1872	10	興化文振 県	饑	賑(捐義 倉粟)		6699
1873	6	太原四州 県	饑	賑(倉粟 米)		6725
1874	1	太原上游	饑饉	賑		6759
1874	4	平順蠻	饑			6776
1875	4	興化	饑民		初興化省臣梁思次以該轄並別轄(山・宣)饑民羣來(六百余人)省鋪覓食、請摘義倉錢粟並官米賑給之。經奉準辦(二月日)。嗣而饑民日就益衆(二千八余人)。該省權借倉米、派領兵並通判、按日賑給……。	6844
1876	1	山西山陽 県	民饑	賑(官米)		6883
1876	8	広義	拮据属甚	減價發売 (倉米)		6903
1877	2	広治	民饑	賑、貸 (社倉粟 並載京米)		6931
1878	1	富安同春	食艱	貸(県倉		6968

		・緩和二 県		米)		
1878	7	広南、広 義	饑民	賑	多携過海雲関、覓食。・・・ 行止不堪者設所留養。	6983
1878	8	広南、広 義	大饑		棍徒掠食。・・・饑民有願往 承天府轄分賑雇度者。並聴。	6992- 6993
1878	12	平定、富 安、慶和			再派銅船二艘分載順安汎米 (或二千方或三千余方) 備給。 復令住嘉定領事阮立雇西清商 船多載米来、助發饑民。	7000- 7001
1879	1	広義	民饑日甚		欽派段克讓・領布政使段瑤等 請于属轄各総、暫構濟養所、 量摘捐錢二萬緡買米交各府県、 擇举人・秀才每総一人、督同 総賑給。許之。	7008- 7009
1879	1	承天	民情拮据	富豪捐貲		7009
1879	1	清化以南 (乂・静・ 平・治)	米價騰昂、 民食拮据	貸(倉粟)		7009
1879	閏 3	河内	饑民		辰饑民多就河内覓食者(八千 余人)。省臣陳廷肅奏請設場 賑給。帝曰「凡各省賑給、応 多分設方周而免淆雜。聞猶合 一處賑、致生攘奪。病餓即通 飭之。並嚴戡不肖之徒、方能 妥帖。」	7018
1879	6	広南	饑民(節 次一百三 十名氏)		就食于承天府。命照給錢米。	7028
1879	6	河静	艱食	賑、貸		7029
1879	6	広義	民情艱食	賑(倉米)、 富戸捐助		7030、 (7029)
1879	6	南定	饑	貸(庫錢)		7032
1879	7	平定	民饑		準省臣出倉米、立養濟所。並 飭府県買米猪粥飯給養。	7034
1879	7	広義	轄民拮据 日甚	賑(倉錢、 工代)		7035、 (7036)

1880	1	広治	民饑			7055
1880	2	海陽上遊 七県	饑	貸(庫錢、 並義倉粟)		7063
1880	2	河内	饑			7064
1880	4	河内	饑	設場分賑 (倉錢米)	二三月饑民就賑、至一萬五六 千人。既許摘加収粟與勸捐助 賑。茲又準摘錢米增給之。每 十日將情形飛奏。	7068
1880	4	又安	民饑	捐貲		7074
1880	7	宣光霑化 州	饑民	分給(倉 米)		7076
1881	5	甘露向化 蛮	饑	賑		7110
1881	7	平順	饑民	賑		7116
1882	12	広南	饑	緩、免		7175
1883	1	広治	米貴、民 饑	減價發売 (倉米)		7179
1883	4	海陽、河 内、寧平	饑民	賑		7191